

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

感染症の流行状況と薬剤耐性に関する集計

1. 研究の対象および研究対象期間

当院で細菌培養や抗原検査などの感染症検体検査をお受け頂いた方
匿名化された情報に基づく 2014年4月～2025年3月の検査結果の集計

2. 研究目的・方法

- 院内感染を防ぐには、感染症の発生状況、すなわち病原体の検出件数を的確に把握する必要があります。細菌やウイルスなどの病原体は、喀痰や尿、鼻やのどのぬぐい液などを培養したり、血液や尿の検査で確認されます。これらの検査結果を集計し、どのような病原体が増えているのか、薬剤の効きにくい菌は検出されていないかを調査することで、有効な薬剤が迅速に特定できたり、厄介な感染症の広がりを早期に発見できるようになります。
- また、病原菌をやっつける抗生物質の効き具合は、医療機関により大きな差がみられます。このため、受診されるご施設で有効な抗菌薬が何かを知っておくことは、病原体を素早く撃退する有用なデータとなります。
- お願いしたいのは、個人単位でなく上記のような集団としての検査結果を集計させて頂くことです。「次に受診される方」がより質の高い診療を受けるため貴重な情報として活用されますので、ぜひご協力のほど、心よりお願い申し上げます。

研究期間

集計対象期間 2014年4月1日～ 2025年3月31日

研究実施期間は「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2025年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の診療で検査された病原体の検査結果をもとに、病院全体での陽性率や検出件数、抗生物質の効く割合などを受診者集団での値として集計させていただきます。新たに採血や検体の採取をお願いすることはありません。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 臨床病理検査室

氏名：江原佳史、木村 聡

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000

研究責任者：

昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 教授

木村 聡